

第7次福生市行政改革大綱（案）概要版

行政改革大綱（第7次）

行政改革の目的

行政サービスに対する市民満足度の向上

基本理念

次世代につながる行政改革

取組の視点

1

効果・効率的な行財政運営を目指して
キーワード：ICT、Society5.0、公共施設

2

既存の考え方からの脱却
キーワード：財政負担の最小化、官民連携

3

わかりやすい行政と市民との共創の推進
キーワード：市民との共創、新たな仕組みづくり

◎ 推進期間

令和2年度から令和11年度まで（10年間）

◎ 大綱の指標

- ア 経常収支比率26市平均以下
- イ 普通会計に占める職員給の構成比率26市平均以下
- ウ 臨時的収入比率
現状値（平成27年度から平成30年度の平均値）以上

◎ 大綱の推進項目

視点	推進項目	推進計画
効果・効率的な行財政運営を目指して	1 個別施設計画に基づく公共施設の計画的な更新と適正化	
	2 自治体業務のICTやAI・RPAの活用による業務効率化	
	3 各種補助金等の有効活用	
	4 自主財源の確保とPDCAサイクルによる事業の精査	
	5 組織と人材の質の向上	
既存の考え方からの脱却	6 行政サービスの民間開放とアウトソーシングの推進	
	7 税外収入の確保	
	8 行政サービスの広域化	
	9 業務スキームの見直し	
わかりやすい行政と市民との共創の推進	10 地方公会計制度の活用と財務状況の分析と公表	
	11 共創の仕組みづくりの促進	
	12 共創による相互扶助の支援	